



全労連 憲法闘争ニュース 速報版

<http://www.zenroren.gr.jp/jp/> TEL 03-5842-5610 FAX 03-5842-5620 No.25

戦争法案 自公強行採決 糾弾！

全労連声明

戦争法案の強行採決を糾弾し、廃案を求める声明

「全労連は強行採決を厳しく糾弾するとともに、組織の総力をあげて運動と共同をいっそう強化し、最悪の違憲法案である戦争法案の廃案を勝ちとる決意である」として、すべての組合員と家族、国民のみなさんに、今を生きるものとして戦争法案を廃案に追いこむ悔いなき行動を心から呼びかけています。

- ・強行採決への怒りを胸に、直ちに街頭に繰り出し、戦争法案 NO の声で列島騒然という状況をつくりだそう。
- ・連日とりくまれている総がかり行動実行委員会などの国会行動に、これまで以上の結集をつくりだし、怒りの唱和で安倍政権を包囲しよう。
- ・「安倍政権 NO！0724 大行動」と総がかり行動実行委員会の「7・26 国会包囲」を当面する最大の結節点に位置づけ、これまでの規模をさらに大きく上回る空前の参加者で国会と官邸を何重にも大包围し、安倍政権を立往生させよう。
- ・「戦争法案を廃案に追いこむために、やれること、やるべきことをすべてやりきろう」という議論を職場や地域で巻き起こし、みんなで行動を具体化しよう。

糾弾！ 廃案求める声明・談話 次々と

国公労連 違憲法案のgori押しは異論を封殺するファシズムそのもの

鎌田一書記長名の談話を発表。「世論を無視し、国会審議でも反対討論に耳を傾けることもせず、民主主義とは相容れない異論を封殺するファシズムそのもの」だと批判。『憲法尊重・擁護の義務』を負っている公務員労働者として、憲法違反の戦争法案の成立を許すわけにはいかない」として、「国民的な運動の発展で戦争法案の廃案を勝ちとろうではありませんか」と呼びかけています。

自治労連 衆院委員会での戦争法案強行採決を糾弾し、断固廃案を求める

中川悟書記長名の談話を発表。「住民のいのちとくらしを守ることを責務とする自治体・自治体公務員労働者にとっても、戦争法案は重大な影響を及ぼす。我々は先の大戦で、住民を国の起こした戦争へと駆り立てた痛苦の反省から、『二度と赤紙を配らない』をスローガンに、これまで憲法を守り、いかす運動に取り組んできた」とし、「憲法と民主主義を乱暴に踏みこむ安倍政権を退陣に追い込むために、自治労連は全力を尽くす」としています。

民放労連 「違憲」戦争法案の強行採決は民主主義の冒涇だ

強行採決について、「議論を尽くしてよりよい社会を築こうとする民主主義に対する許しがたい冒涇行為」。法案の議論をめぐっても、言論統制そのものを意図する言動が相次いだことに、「表現の自由の保障によって成り立つ放送に働く私たちにとって、日常業務すら脅かしかねない重大な脅威であり、絶対に許すことはできない」と批判し、「欠陥だらけの『戦争法案』を廃案に追い込むため、これからも全力を挙げることを宣言する」としています。

全教 「戦争法案」の衆議院特別委員会での強行採決に強く抗議する

教職員の圧倒的多数が「『戦争する国』ではなく、憲法9条をいかに『平和をひろげる』を子どもたちに手渡したいという意味を表明している」とし、「教え子を再び戦場に送る」ことにつながるこの法案の廃止を求めています。

医労連 日本を「殺し、殺される国」にする「戦争法」強行採決に抗議！ 安倍政権の即時退陣を求める

中野千香子中央執行委員長名の談話で、「医療・介護・福祉労働者は、一人ひとりのいのちの重みを日常的に実感している」とし、戦争法案の即時廃案・安倍政権の即時退陣を求めています。

全労連ビデオニュース 7月臨時号 7.15 戦争法案NO！強行採決抗議！国会前

全労連ビデオニュース7月臨時号ができました。「7.15 戦争法案NO！強行採決抗議！国会前」の特集です。リンク先：http://youtu.be/_Qk_GI3iDw 全労連ホームページ <http://www.zenroren.gr.jp/jp/>

今こそ「伝家の宝刀」 労組、スト権確立続々と

毎日新聞より(2015年07月15日)転載

政府・与党が安全保障関連法案の成立を目指して突き進む中、労働組合で同法案に反対してストライキを構えようという動きが広がっている。ストライキは春闘の賃上げ交渉の手段にとどまらず、かつては日米安保条約改定などに反対する際にも「政治スト」として盛んに行われたが、1970年代半ばをピークに件数は減少の一途をたどってきた。だが、国民の間で安保法案への危機感が高まる中、「伝家の宝刀」が再び注目されている。【東海林智】

◇出版労連

出版労連(大谷充委員長、4500人)は7月10日に東京都内で定期大会を開き、産別統一スト権として「言論・出版・表現の自由を守り、憲法改悪に反対するストライキ権」を、賛成多数で確立した。スト権を巡る議論では、「若者がアレルギーを持ってしまうかもしれない。丁寧な説明を」などの意見もあったが、執行部は「産業を守る意味でも、表現の自由が脅かされかねない安保法案や憲法改正に反対する」などと訴え、賛同を得た。

スト権は今後、出版労連に加盟する組合ごとに批准の手続きを取り、行使できるようにする。本部が全体でのストや指名ストなど方針を示し、抗議活動などに参加する。労連の平川修一副委員長は「経営者に打撃を与えるのが目的のストではないことが理解してもらえた。経営者も反対の意思表示に加わってほしい」と話す。

◇医療・印刷

医療現場で働く看護師らで組織する日本医労連(中野千香子委員長、15万人)は、今月22日から開く定期大会で、産別統一スト権の6項目の中に「戦争法案・憲法改悪阻止」を入れた。温井伸二・書記次長は「経済ストと違ってハードルは高かったが、戦争が起きれば私たちは真っ先に巻き込まれる。労組として反対の意思を明確に示す必要があった」と、ストを提案する理由を語った。

さらに、印刷業を中心とする全国印刷出版産業労働組合総連合会(是村高市委員長)でも、北海道の組織が安保法案と憲法改正に反対するスト権をいち早く確立した。東京や京都でもスト権確立が議論される予定だ。

お知らせ

憲法宣伝用チラシ版下 (PDF)

憲法共同センターは、戦争法案の強行採決を受け宣伝用のチラシ版下を作成します。17日(金)夕方配信、ダウンロードできるように作成をすすめています。

* 憲法共同センター ホームページ <http://www.kyodo-center.jp/>

戦争法案 NO! 行動予定

※主催団体名のないものは総がかり行動実行委員会主催です。

16日(木)

◆戦争法案廃案！強行採決反対！国会前座り込み行動 13～17時＊国会正門前

◆戦争法案廃案！強行採決反対！国会正門前大集会 18時半～20時 国会正門前（木曜連続行動＝第9回を兼ねる）

17日(金)

◆戦争法案廃案！強行採決反対！国会前座り込み行動 13～17時＊国会正門前

◆戦争法案廃案！強行採決反対！国会正門前大集会 18時半～20時 国会正門前

21日(火)

◆毎週火曜日いっせい宣伝行動 全国各地

＊憲法共同センターは、18時から都内8カ所

（新宿東口・茗荷谷駅・巣鴨駅・西新橋1丁目交差点・四谷駅・上野マルイ前・御茶ノ水駅・大塚駅）

22日(水)

主催：国民大運動実行委員会など3団体

◆定例国会行動 12:15～13時 衆院第2議員会館前

23日(木)

◆戦争法案廃案！強行採決反対！第10回国会前木曜連続行動 衆院第2議員会館前 18時半～19時半

＊全労連など憲法共同センターは参院議員会館側

24日(金)

★中央行動 主催：春闘共闘・全労連

12:15～ 決起集会（日比谷野音）

13:15～ 厚労省前・人事院前 要求行動

14:30～ 国会請願デモ

15:30～ 議員要請（戦争法案・派遣法）など

↓ ↓ ↓

★安倍政権 NO! 0724大行動 主催：安倍政権NO! ☆実行委員会

18:30～19:30 日比谷野音集会

19:00～21:00 官邸包囲・官邸抗議

26日(日)

◆戦争法案廃案！国会包囲行動 14時～15時半 国会周辺

28日(火)

◆戦争法案廃案！強行採決反対！7・14大集会・国会請願デモ

＊集会＝18時半～ 日比谷野音

＊集会と並行して国会請願デモ＝18時45分出発

30日(木)

◆戦争法案廃案！強行採決反対！第10回国会前木曜連続行動 衆院第2議員会館前 18時半～19時半

＊全労連など憲法共同センターは参院議員会館側